

本通り将来像検討会 第3回

2025年7月16日(水)19時～ @箱崎会館

■スケジュール（予定）

	第1回	第2回	第3回	第4回	予備1	予備2	自治連 自治協 提案	市へ 提案
内容	現状把握 意見交換	将来像検討	将来像の パターン比較	意見集約				
開催日	5月14日	6月11日	7月16日	8月6日	9月17日	10月頃	10月頃	年度内
場所	箱崎会館	箱崎公民館	箱崎会館	箱崎会館	箱崎会館			

※9月頃に検討状況報告や意見募集のためのまちづくり新聞を発行する予定です。

1. 前回意見のまとめ等【資料1】（資料説明）※10分程度

①個人投票でいいなと思った事例写真・キーワード集計結果

第1位 無電柱化：16票 **第2位** 路側帯・石畳風舗装・狭い：13票 **第5位** にぎわい：11票

②グループで話し合った「特に大事なこと・実現したいこと」キーワード集計結果

2票 無電柱化 **1票** 一方通行、ハンプ、石畳風舗装、照明灯、滞留スペース、**広い**、**狭い**

今回は、①将来像のイメージ（共通した意見のみで作成した案）を確認

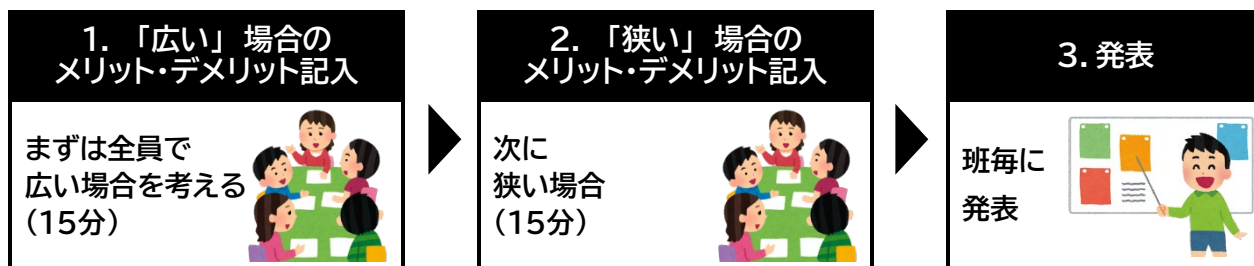
②広い・狭い の2パターンを比較し、メリット・デメリットを考える

2. 将来像まとめ と 広い・狭い の比較【資料2】（資料説明）※20分程度

- ・別紙参照
- ・質疑応答

3. 意見交換 【資料3：意見交換のポイント】※40分程度

■意見交換の進め方（進行：コンサル）



※本日整理した「メリット」「デメリット」はとりまとめ、次回報告します。

2025 年 6 月 11 日 本通り将来像検討会第2回 グループワーク意見集計・意見まとめ

分類	項目	集計 ※1	大事 ※2	意見(ワークシートの書き込み) ●意見 ◇気になること
歩行者空間	歩道・バリアフリー	7		
	路側帯	13		
車の制限	一方通行等	8	1	●一方通行にして歩道を拡張してほしい。 ●時間帯で歩行者天国にする。
	ハンプ	2	1	●本通りの入口、出口にハンプがあっても良い。
	狭さく・スラローム	2		●狭さくよりは滞留スペースの方が良い。 ●おしゃれな景観になじむスラロームがあるとよい。
通りの 景観配慮	石畳風舗装	13	1	●石畳風にすることで視覚的に人の道(宮崎宮につながる参道)であることが分かりやすくする。
	無電柱化	16	2	●電柱をなくすところに滞留スペースをつくる。 ●現実的。電柱・電線がないと雰囲気が違う。 ◇実現までどのくらいの期間がかかるのか？10～20年？ ◇誰がお金を負担するのか？ ◇無電柱化は広い幅員が無いと無理では？
	照明灯	5	1	
建物の 景観配慮	戸建住宅事例	2		
	共同住宅事例	6		
	店舗等事例	6		
にぎわい・ 店舗	店舗・通り	11		●放生会の期間は(交通の)規制をかけても良い。 ●商店街のにぎわいが戻って欲しい。地元民が歩きたくなる道になって欲しい。 ◇実際のところ、商売になるのか？人が来るのか？
	滞留スペース	7	1	
	交流スペース	3		
道路の広さ	広い(18m程度)	7	1	●広い方がベビーカー、車椅子、押し車が安全に通れる。自転車、歩道、車道が別々になれば安全。 ◇道が広くなれば滞留スペースや交流スペースがつかれるのでは？ ◇地権者の立ち退きはスムーズに進むか？
	狭い(6～7m程度)	13	1	●車の往來の道ではなく人の往來の道をつくりたい。
	その他	—	—	●現道で歩行者の安全確保は難しい。18mは必要ないが、歩行者の安全のためにはお宮の前くらい(12m程度)は必要ではないか。 ⇒12mは道路構造令の基準に準拠しないため、都市計画道路としての幅員を変更することは困難

※1：「いいな」と思った事例写真・キーワードに個人で投票したものの集計結果

※2：グループの話し合いで「特に大事」「実現したい」と思ったものとして選んだものの集計

まとめ

- ・石畳、無電柱化、通りのにぎわいなど、将来実現したいことが概ね共通しているものが多い。
- ・広い・狭いは2つに分かれており、「広い」、「狭い」の2パターンで「できること」を説明し、「メリット・デメリット」を比較・検討する。

ワークシートに記入がない発表のみの意見を赤字で表記

■ 1 班

- ①人と車のどちらが大事かという視点から、人の往来を優先したいということになった。
- ②石畳にすることで、視覚的に人の道（お宮につながる道）であることをわかりやすくする。
- ③電柱をなくして、滞留スペースを作る。車のスピードを抑えるためにも、事例写真のポールではなく、滞留スペースを作る方が良い。
- ④現在もあるが、お宮のところにある外灯が全体にあると良い。
- ⑤現在の幅員のまま、車の車線は 1 つにして、残りを歩道にしてはどうか。
- ⑥本通りの入口部分にハンプのようなものを作り、本通りに入りにくい意識を作る。

■ 2 班

- ①大事にしたい 2 つは「無電柱化」と「広い幅員の道路」にすること
- ②広い方がベビーカーや車いす、高齢者の手押し車などが安全に通ることができる。自転車、歩道、車道が別々になれば安全。
- ③道路が広くなれば、滞留スペースや交流スペースが作れると思う。ただし、地権者の立ち退きがスムーズにできるのかは心配。
- ④天神方面から九大病院前までは道路の景色はいいが、馬出からは景観が良くない。そのため、無電柱化を選んだが、現実的にできるのか。実現までどれくらい期間がかかるのか。誰が費用を負担するのが心配。
- ⑤地元に住んでいるが本通りを歩くことはなかなかない。本通りに魅力的なお店があれば、通りを歩くかもしれない。商店街のにぎわいがもどってほしい。地元民が歩きたくなる道になってほしい。

■ 3 班

- ①道路幅が 6 m の場合は歩道を作るのは難しいだろう。
- ②一方通行は、通りに面しているお店や事業者にとって仕事がしにくくなるだろう。本通りに面した人たちの意見を聞いた方がいい。
- ③以上をふまえると、道路幅は 12 m 程度が良いのではないか。
- ④電線が多いと見た目が良くないため、できるのであれば無電柱化してほしい。
- ⑤建物のまちづくりルールはあった方がいいと思うが、特に大事なものとしては選んでいない。

■ その他補足説明など

- ① 12 m は道路構造令の基準に準拠しないため、都市計画道路としての幅員を変更することは困難。
- ②都市計画道路として拡幅する場合のラインや整備イメージを示してほしい。

将来像まとめ と 広い・狭いの比較

1. 将来像イメージ

- ・ 共通した意見のみで
作成した案を確認します

2. 広い・狭いの比較

- ・ 広い・狭いの2パターンを
比較します
- ・ 比較しながらメリット・
デメリットを考えます

令和7年7月16日（水）

1

1. 将来像イメージ

①第1回、第2回検討会の意見

安心安全	歩行空間	無電柱化	車の制限	バリアフリー	一方通行	明るい通り	歩行者専用	景観	舗装・石畳	にぎわい・店舗	ふれあい	歴史・伝統	住み心地	防災	通りたくなる	産業	その他
58	32	10	5	5	2	1	1	26	11	13	7	6	3	2	2	1	13

●第1回結果から、5つの分野の将来像が重要と分かりました。

①安全・安心 ②景観 ③にぎわい・店舗 ④ふれあい ⑤歴史伝統

●第2回結果から、道路の広い・狭いに関わらず、以下の取り組みが重要と分かりました。

①無電柱化、②石畳風舗装、③通りのにぎわい

1. 将来像イメージ

②将来像イメージ（概ね共通の意見でまとめたイメージ案です）

【箱崎まちづくり計画の将来像】

人がふれあい 活気あふれる 歴史と伝統のまち 箱崎

分野	本通りの将来像（まちづくり計画の将来像をふまえて作成）
ふれあい	こども・高齢者など、地域の人が 気軽にあいさつ でき、 ご近所さんの 顔が見える 、 交流が盛んな 本通り。
活気あふれる	個性的なお店 が増えることで 通りの魅力 が高まり、 たくさんの 人が行き交う 、 活気とにぎわいがあふれる 本通り。
歴史と伝統	筥崎宮や唐津街道を中心に発展した 箱崎の歴史と伝統が継承 され、 歴史・伝統と調和した風情ある景観 が魅力的な本通り。
安全・安心	こどもから高齢者まで、 誰もが安全に歩き回ることができる 本通り。

3

2. 広い・狭いの比較

広い・狭い の比較にあたって

広い



狭い



- 1) 広い・狭い により実現する道路空間を、客観的視点で紹介します
- 2) メリットとデメリットは、意見交換をしながら整理していきます

4

2. 広い・狭いの比較

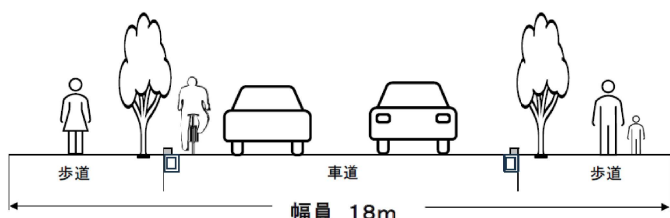
①広い 場合の特徴

緑字：懸念事項



A 歩道

- 独立した歩道が両側に確保できる
 - 視覚障害誘導ブロックが設置可能
- ⇒ 全体として安全性が向上



5

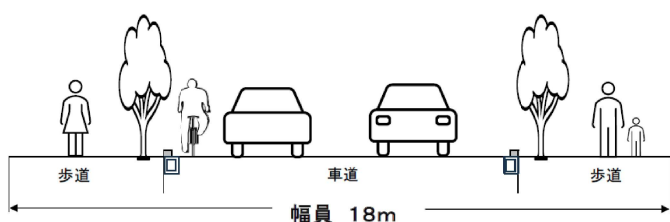
2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴

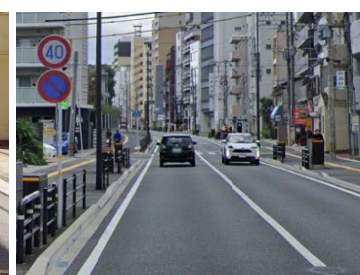


B 車道

- 二車線の道路になる
⇒ 交通量・車のスピードが増加
- 信号・横断歩道が設置される
⇒ 歩車ともに信号待ちあり
- 歩車道境界に横断防止柵を設置する場合もある



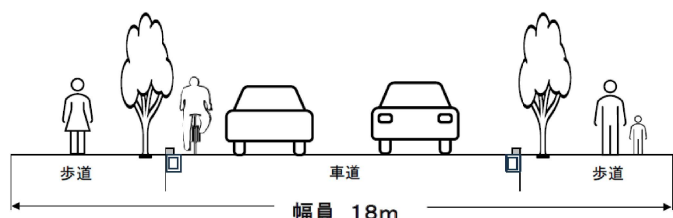
現在はゾーン30



九大病院付近は40km規制 6

2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴



C 石畳風舗装

- 歩道の石畳風舗装の整備検討可能



御供所地区 疎開道路は歩道のみ石畳風舗装を整備

7

2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴



馬出九大病院前の無電柱化地上機器

D 無電柱化

- 歩道内に、地上機器や電線共同溝などの設備が整備可能
- 地上機器を設置したうえで歩行者空間の確保が可能

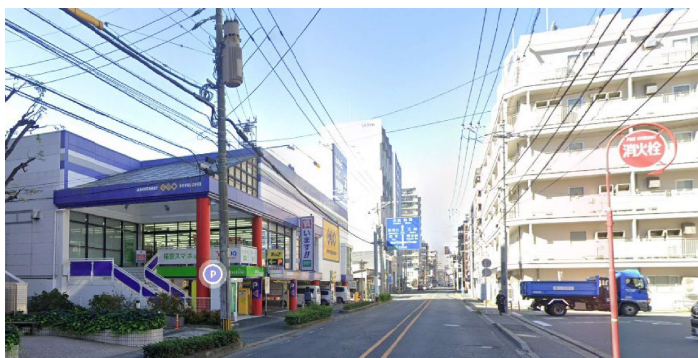
E 照明灯・街灯

- 歩道内に、照明灯・街灯の整備可能
- 照明灯を設置したうえで、歩行者空間の確保が可能

8

2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴



県道31号線高宮通（大橋駅付近の商業地域）



県道31号線高宮通（高宮駅付近の商業地域）

F 建築動向の変化（傾向予測）

●沿線環境の変化

- ⇒ 大規模店舗等の建設可能性
- ⇒ 大規模マンションの建設可能性
- ⇒ 大規模駐車場の整備可能性

●高層建物、駐車場などによる景観変化

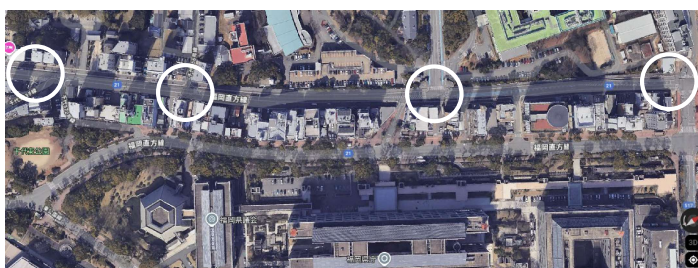
- ⇒ 街並みの印象が変化

●拡幅による沿道建物の変化

- ⇒ 街並みの印象が変化

2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴



九大病院前道路の横断歩道の位置（4箇所）

G にぎわい・ふれあい

- 両側の建物が遠く、道路で分断される
- 道路を横断しづらくなる
- マンション化による店舗減少の可能性
- 大規模店舗により雰囲気変化の可能性
- ⇒ 小規模店の連続のイメージの変化



県道31号線高宮通の大規模店舗のイメージ

2. 広い・狭いの比較

①広い 場合の特徴



H 滞留スペース

- 敷地内の滞留スペース確保のためには、特定まちづくりルール協議のなかで、事業者への配慮を要請する



姫路市 ほこみち制度の活用事例



姫路市大手前通り ほこみち制度活用の事例

福岡市におけるほこみち制度は「沿道住民との協議等により理解が得られている団体」の道路活用（地域貢献）を認める制度となっている。
※歩道の有効幅員の確保など条件あり

11

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



A 歩道 / 一方通行

- 独立した歩道は確保できない
⇒現道内で歩行空間を確保するためには、一方通行が必要となる。
- ハンプ（凸部）、スラロームの設置には、歩行空間の確保を慎重に検討する必要あり
⇒方針決定後に詳細の検討が必要



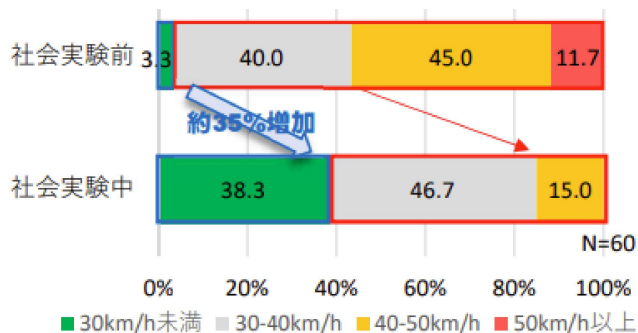
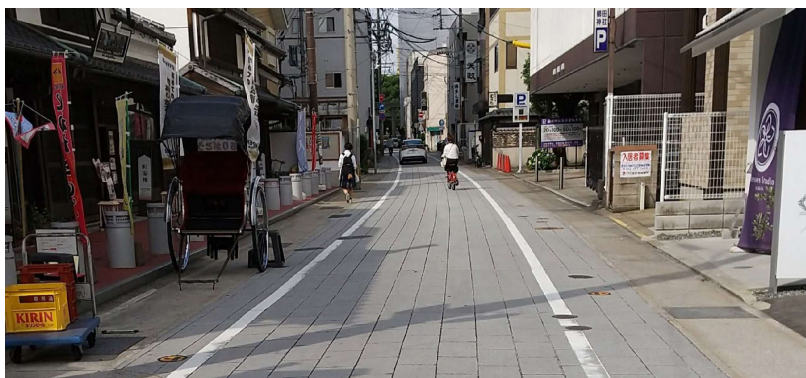
速度抑制の方法は要検討



12

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



出典:国土技術政策総合研究所

ハンプの設置効果の実証実験（30km未満が35%増加）

B 車道 / 一方通行

- 歩行空間を確保するためには一方通行が必要となる
⇒一方通行し、対策がなければ車のスピード増加の可能性あり
- スピード抑制のためのハンプ（凸部）、スラロームなどの対策検討が必要
- 一方通行の向きの検討が必要
※現在7-9時で一方通行を指定



速度抑制の方法は要検討

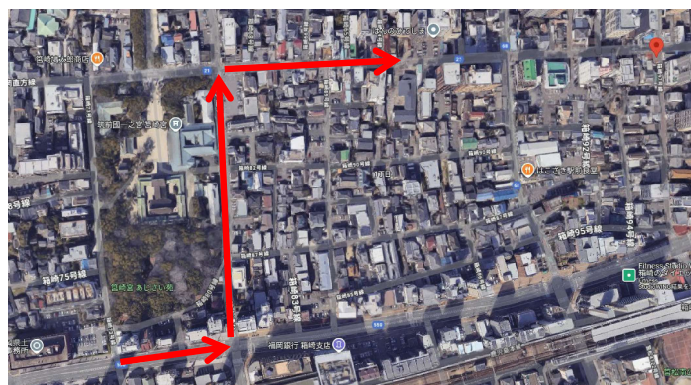
13

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴

B 車道 / 一方通行

- 一方通行になれば、地域住民、事業者への影響あり
⇒住民として一部の遠回りが許容できるか
⇒住民、事業者へ丁寧に説明する必要あり



公民館へ道順（一方通行なし）



一方通行（←向き）の際の公民館への道順

14

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



C 石畳風舗装

- 石畳風舗装の整備検討可能



御供所通り

15

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



<沿道家屋の庭に設置し、植栽で隠した事例>

D 無電柱化

- 住民の協力により、地上機器の民有地への設置が必要。

⇒住民による協力が必要



E 照明灯・街灯

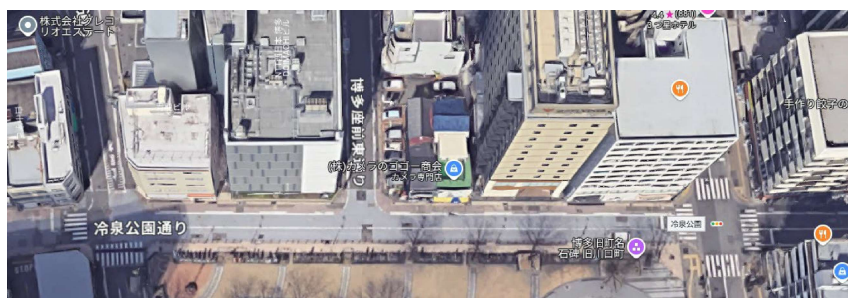
- 照明灯・街灯を路側帯に設置する。

⇒現在の照明灯と同じイメージ。一方通行により現在より歩行空間のゆとりは向上。

16

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



冷泉公園通り（2車線道路）の土地利用更新事例



櫛田参道（一方通行・幅員約7m）の土地利用更新事例

F 建築動向の変化（傾向予測）

●沿線環境の変化

⇒広い場合よりも、大規模店舗等、大規模マンション、大規模駐車場などの増加はゆるやか

●高層建物、駐車場などによる景観変化

⇒広い場合よりは変化がゆるやか

●基本的に現在の街並みが維持

17

2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴



G にぎわい・ふれあい

●両側の建物が近く、顔が見える距離感

⇒昔ながらの「向こう三軒両隣」の地域コミュニティの距離感が維持される

●道路の横断がしやすい

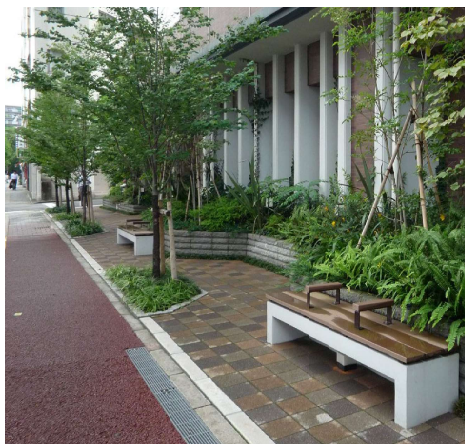
⇒歩行者がまちなかを歩くときの回遊性が高い。
道路沿い店舗に立ち寄りしやすい。

18

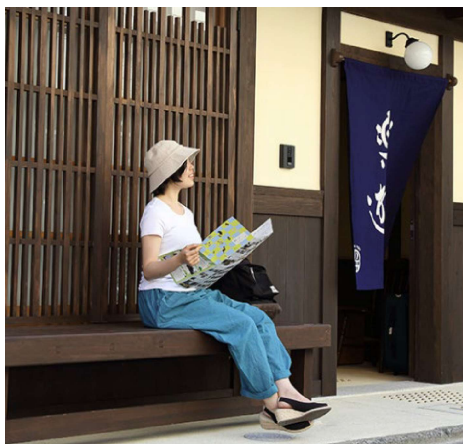
2. 広い・狭いの比較

②狭い 場合の特徴

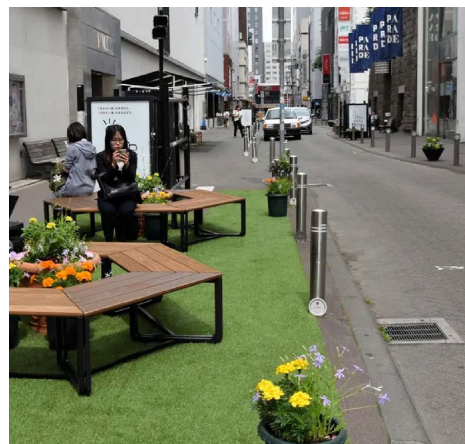
H 滞留スペース



中央区大手門共同住宅の事例



「ぼったり床机」の事例



北海道札幌市の事例

- 道路上の滞留スペースについては、①路側帯に歩行者空間が必要である、②車両通行場所から近く危険である、以上から、実現が難しい。
- 敷地内の滞留スペース確保のためには、特定まちづくりルール協議のなかで、事業者への配慮を要請することが考えられる。

意見交換のポイント

令和7年7月16日（水）

1

広い・狭い まとめ

		
幅員	広い（幅員18m）	狭い（幅員6～7m程度）
歩道	●独立した歩道 ●誘導ブロック	●路側帯
車道	●二車線道路 ●歩車分離	●一方通行が必要 ●スピード抑制対策の検討が必要
石畳風	●歩道の石畳風舗装 の検討可	●全体の石畳風舗装 検討可
無電柱	●歩道内に機器設置が可	●民有地に機器設置が必要
建築動向	●大規模建物へ建替え進む可能性 ●拡幅の建替えで街並み変化	●現状維持 ●歴史的景観の維持
にぎわい	●道路で分断 ●横断しにくい ●拡幅の建替えでお店が変化	●向こう三軒両隣の距離感は維持 ●横断しやすい、回遊性は維持
滞留スペース	●民有地が基本	●民有地が基本
事業期間 （類似事例）	●事業着手から15年～ ※事業着手までも時間を要する	●事業着手から5年程度 ※無電柱化を除く

意見交換のポイント

将来像の分野		
	広い（幅員18m）	狭い（幅員6～7m程度）
安全・安心	●歩行者・こども・高齢者（ベビーカーや車いす）の安全 ●車のスピードや交通量 ●人の横断	
ふれあい	●近所づきあいや地域活動	
活気あふれる	●今あるお店・建物／新しいお店・建物がどうなるか ●人が行き交う賑わい（回遊性） ●お店が並ぶ賑わい ●お店の集客や来街者の交通アクセス	
歴史と伝統	●筥崎宮、旧唐津街道、宿場町としての歴史（まちなみ） ●伝統行事・お祭りへの影響	

3

重要な視点 ①歴史・伝統



まつりと日本のまつり探検プロジェクト動画「私たちの祭り探検#4 1 福岡県福岡市玉せせり」
<https://www.youtube.com/watch?v=YPCGuT-cCmk>

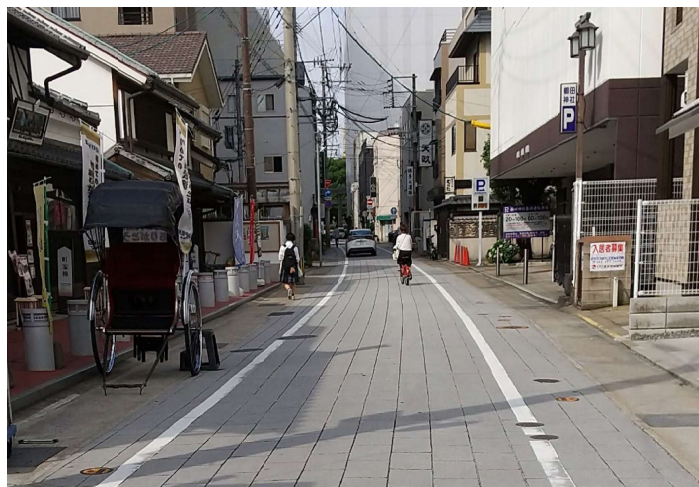
4

重要な視点 ②道路空間の考え方

歩車分離



歩車共存



車専用空間で安全確保

空間をつなげ、歩車共存

5

意見交換

広い



狭い



意見交換にあたってのお願い

- 1 みんなの意見を尊重 (メリット・デメリットは人によって違う、大切な意見として一緒に考える。)
- 2 たくさんの意見を聞く (発言は短めに)
- 3 思いつきはどんどん書く (同じことでメリット・デメリットの両面あった場合は両方とも書く。)
- 4 未来の箱崎の視点をもつ (今の自分にとってだけでなく、未来の住民の目線でも考える)

6

■本通り「広い」「狭い」の意見交換ワークシート

2025/7/16 将来像検討会 第3回 A2サイズ

- 作業1 「広い」場合のメリット・デメリットを意見交換・記入する
- 作業2 「狭い」場合 //
- 作業3 各グループ毎に発表して、意見を共有

	広い 18m程度
メリット	
デメリット	

- 1 みんなの意見を尊重（メリット・デメリットは人によって違う。大切な意見としてして一緒に考える）
- 2 たくさんの意見を聞く（発言は短めに）
- 3 思いつきはどんどん書く（同じことでメリット・デメリットの両面あった場合は両方とも書く。）
- 4 未来の箱崎の視点をもつ（今の自分にとってだけでなく、未来の住民の目線でも考える）

	狭い 6～7m程度
メリット	
デメリット	